

# 平成17年度 全国農業コンクール名譽賞・農林水産大臣賞 受賞

## 十和田湖 高原ファーム

## 桃豚通信

発行所  
有限会社 ポークランド 〒017-0201 秋田県男鹿市小坂町字台1-2  
TEL 0186-29-4000 FAX 0186-29-4002  
有限会社 十和田湖高原ファーム URL http://www.momobuta.jp

JAS リーファース 安心システム JAB ISO 14001



北村毎日新聞社長から賞状を授与

### 毎日新聞/2005年5月24日掲載

#### 全国農業コンクール畜産部門 養豚経営の「十和田湖高原ファーム」が代表に

【秋田県十和田市】十和田湖高原ファーム(以下「ファーム」)が、平成17年度(2005年)の第54回全国農業コンクール畜産部門において、名譽賞・農林水産大臣賞を受賞した。ファームは、十和田湖を水源とする、十和田市小坂町の養豚場である。...

### 北鹿新聞/2005年7月29日掲載

#### 「十和田湖高原ファーム」が名譽賞を受賞

【十和田市】十和田湖高原ファームが、平成17年度(2005年)の第54回全国農業コンクール畜産部門において、名譽賞・農林水産大臣賞を受賞した。...

### 毎日新聞/2005年7月22日掲載

#### 身近な話題

【十和田市】十和田湖高原ファームが、平成17年度(2005年)の第54回全国農業コンクール畜産部門において、名譽賞・農林水産大臣賞を受賞した。...



### 創業10年で堂々の入賞

去る7月21日に岡山市で開催された「第54回全国農業コンクール」(毎日新聞、岡山県主催)で、農林水産省など後援、株式会社コトボタなど協賛の畜産部門において、十和田湖高原ファームが養豚経営の実績が評価され、名譽賞・農林水産大臣賞を受賞することができた。...

# 平成17年度 ふるさと企業大賞 (総務大臣賞) 受賞

## ポークランド

### 資源循環 情報公表など 高く評価されました

ふるさと財団では、地域振興に資する事業活動を実施している民間事業者を顕彰し、その活動を全国に広く周知することにより、地域の振興、地域経済の活性化と魅力あるふるさとづくりの推進に資するものとして、平成17年度より「ふるさと企業大賞(総務大臣賞)」の表彰をうけようとしています。...



麻生太郎前総務大臣を囲んでの記念写真

### 北鹿新聞/2005年11月2日掲載

#### 循環型農業で企業大賞 川口町長に受賞報告

【十和田市】十和田湖高原ファームが、平成17年度(2005年)の第54回全国農業コンクール畜産部門において、名譽賞・農林水産大臣賞を受賞した。...

### 北鹿新聞/2005年9月11日掲載

#### ポークランド(小坂)が受賞 ふるさと 資源循環 情報公表など評価

【十和田市】十和田湖高原ファームが、平成17年度(2005年)の第54回全国農業コンクール畜産部門において、名譽賞・農林水産大臣賞を受賞した。...

### 資源の地域内循環評価 「ポークランド」にふるさと企業大賞

「理想の形見えてきた」

【十和田市】十和田湖高原ファームが、平成17年度(2005年)の第54回全国農業コンクール畜産部門において、名譽賞・農林水産大臣賞を受賞した。...

### 朝日新聞/2005年10月6日掲載

#### 環境に配慮、桃豚に評価

【十和田市】十和田湖高原ファームが、平成17年度(2005年)の第54回全国農業コンクール畜産部門において、名譽賞・農林水産大臣賞を受賞した。...

## 安心・安全への取り組み

### ICタグで情報管理

豚肉のJAS規格認証

日本農業新聞/2006年1月25日掲載

生まれればの子豚にICタグを一回付ければ、毎日の給餌情報だけでなく、健康状態、万が一の投薬履歴などのデータが必要ときに取り出しが可能になります。...

### JASマークの付いた食肉が消費者に届くまで

生産情報の記録・保管・公表の義務

認定生産工程管理者(生産者等) 認定 認定

ICタグ付き耳標の装着から管理・出荷まで

ICタグ付き耳標を装着した出産直後の子豚

## 17年度の取り組み

### 生ゴミの堆肥化開始

「捨てるものから、利用できるものへ...」

十和田湖をはじめとする豊かな自然環境を有する小坂町では平成9年に開催した世界鉱山サミットの小坂宣言に基づき、土に還るものは土に戻し、土に還らないものは再資源化することとを基本とし、資源循環型の社会づくりを注いでいます。...

### 無農薬・無化学肥料での野菜作りへのチャレンジ

桃豚の生産現場であるポークランド十和田湖高原ファームからは、その糞尿をたたく処理を、BMW(バウワー)ミニトラクタ(乗用トラクター)技術を活用し、糞尿堆肥へ、尿は生物活性水へと生まれ変わります。...

### バイオベットの(発酵床)による桃豚飼育の実践

近年自然に近い状態で飼育する放牧豚や短角牛が健康で美味しい食肉として取り上げられる機会が多くなり、消費者の食肉への安心、安全の意識も高まっています。...

### 17年度主な出来事

- 4月 小坂町内より排出される食品残渣物の処理を開始(小坂クリーンセンター)
- 5月20日 秋田県経済研究所 振興表彰
- 7月21日 第54回毎日新聞全国農業コンクールにおいて、十和田湖高原ファームが名譽賞・農林水産大臣賞を受賞(岡山県岡山市)
- 9月 書道家 森大衛氏による新ロゴ完成
- 9月14日 17年度食品安全地域懇談会開催(鹿角地域振興局主催)
- 9月17日 秋田テレビ放送による「十和田湖高原ファーム」が紹介
- 10月26日 十和田湖高原ファームにおいて、ポークランド総務大臣賞受賞(東京府千代田区)
- 11月19日 第15回BMW技術全国交流会開催(富士自動車会主催)
- 11月30日 ポークランドが事務局
- 11月23日 第44回農林水産祭出席(東京都昭島市)
- 秋田朝日放送(秋田県西南)にて「十和田湖高原ファーム」紹介
- ※12月24日放送決定
- 18年度(2006年)計画
- 新農場建設への周辺畜産への説明会開催(18年度工予定)